

8月27日（土）

被災地復興バスツアー

- とき / 午前10時～午後1時
 - ところ / 丹波市豪雨災害からの復旧・復興地
 - 内容 / 丹波市豪雨災害から3年目を迎えた被災地で「見て」「聞いて」「食べて」復興の「今」を実感するバスツアーを実施します。
 - 定員 / 先着30名 ※事前申込みが必要。
 - 参加費 / 500円 小学生未満300円
※参加費は昼食代です。
- 申込方法などは市ホームページをご覧ください。



8月28日（日）

丹波市から始めるふるさと創生シンポジウム

- とき / 午後1時～4時
- ところ / ライフピアいちじま 大ホール
- 主催 / 丹波市・一般財団法人自治総合センター
- 後援 / 総務省 協賛 / 丹波県民局

第1部 基調講演「ハートウェアによるまちづくり」



■講師 / 宮崎緑さん
千葉商科大学教授 / 国際教養学部長
屋久杉と大島紬の保護に取り組み、
奄美パーク園長、田中一村記念美術館館長を兼務。
元NHKニュースキャスター。

第2部 パネルディスカッション「新しいコミュニティのカたち」

- コーディネーター 宮崎緑さん
- パネリスト
松井智美さん（木籠集落／山古志木籠ふるさと会）
福島美佳さん（池谷集落／NPO法人十日町地域おこし実行委員会）
山崎麻里子さん（公益社団法人中越防災安全推進機構）
荻野充さん（丹波市商工会市島支部長）
余田一幸（丹波市復興推進部長）

※このシンポジウムは全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。

8月27・28日 両日

復興シアター

- とき / 午前10時～午後4時
- ところ / ライフピアいちじま アートサロン
- 内容 / 丹波市民の復興感を高めるため、全国のさまざまな被災地が復興していく過程のドキュメンタリー映像を上映します。



8月27日（土）・28日（日）の2日間
平成26年8月丹波市豪雨災害復興イベント
心つなぐ 2 days 「和一处」

復興における課題は、災害発生前から市全体の課題です。災害を機に顕在化した課題に対し、復興の過程で得た答えは市全体の課題解決に応用できます。復興3年目を迎え、新たな地域の再生をめざし「復興の土台づくり」に取り組んでいくため、復興イベント「和一处」を開催します。

問 復興推進室（市島支所内） ☎ 85 - 4622 FAX 85 - 2598
✉ : fukkousuishin@city.tamba.hyogo.jp

8月27日（土）

芝生イベント

「それでもこの町がいい！きっとこれからも…」

- とき / 午後3時～7時
- ところ / ミツ塚史跡公園
- 内容 / 復興の風船飛ばしやステージイベント、飲食ブースなどが多数出店します。中越地震から奇跡の復興を遂げた、新潟県長岡市山古志木籠、十日町市の団体も出店します。
- 主催 / うちの花は赤いプロジェクト実行委員会



- 復興まちづくり協働事業
○学校と地域との連携による体験型の防災教育の推進
・NPO法人SEEDS Asiaが地域と連携した防災教育の推進と先行モデルについて協議を開始。
- 【農業】
■災害発生土を活用したほ場整備
今中地区・清水谷地区（市島地域）
○復興まちづくり協働事業
○剪定枝等自然由来の排出資材を利用したおいしい無農薬・無化学肥料野菜の量産化事業
・（株）日本情報化農業研究所が被災農地を含む約1.5haの農地で環境に優しい野菜づくりを開始。
○アジサイ栽培による農の再生プロジェクト
・（株）大地農園と契約した事業参加者が、被災農地を含む約2haの農地でプリザーブドフラワーに使用するアジサイ栽培を開始。
- 【森林】
■木の駅プロジェクト
○森に人が入る仕組みを構築。災害流木などを出荷し、薪として利用することで木材の地域循環に取り組む。

- 平成28年度復興に向けた重点5分野の取り組み
【人口・コミュニティ】
■大学連携
○一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸との連携協定（6月1日）
・兵庫県下の42校が所属する公益的な連携組織である法人とともに県内の大学などとの連携を強化する。
○学生ボランティア養成プログラム2016（6月4日）
■復興まちづくり助成事業
○丹波市スポーツピアいちじま復旧記念事業
○うちの花は赤いプロジェクト
・志縁ネットワークの構築による地域活性化
○清水谷再生プロジェクト
【住まい】
■復興についての意識調査（4月28日～5月16日）
○生活復興カレンダー
・被災者の気持ちや行動が、災害発生後、時間とともにどのように変化したかを調査。
○復興熟度指数
・復興や復旧が着実に実施され、効果を発揮しているかを調査。
【安心・安全町づくり】
■災害情報の発信
○主な被災箇所には被災状況と完成した砂防ダムなどの施設を説明する看板を設置。